MITSUBISHI

1212875HE3301

三菱パイプ用ファン

〔トイレ用〕

形　名	グリル形状	グリル色調	BL 規格	電源仕様
V-08P7-BL	角形格子グリル	ホワイト	便所用Ⅰ型	電源プラグ
V-08PM7-BL	丸形パンチンググリル	ホワイト		電源プラグ
V-08PP7-BL	角形格子グリル	ホワイト	便所用Ⅱ型	電源プラグ

形名によって取扱いが異なりますので、予めご使用の形名をご確認ください。
形名表示位置は「**3. 各部のなまえ**」を参照ください。

取扱説明書　　お客様用

お客様自身では据付けないでください。（安全や機能の確保ができません）

- 正しく安全にお使いいただくためにこの説明書を必ずお読みください。なお、ご使用の前に「1. 安全のために必ず守ること」を確認して、正しく安全にお使いください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに保管してください。
- この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できず、またアフターサービスもできません。
  This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.　No servicing is available outside of Japan.

1. 安全のために必ず守ること

●誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で区分して説明しています。

⚠警告　誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの

禁止	●**ガス漏れに気付いたときは、換気扇のスイッチの入・切をしない** 爆発・引火の原因。
水ぬれ禁止	●**製品に直接水やお湯、かび取剤などをかけない** ショート・感電の原因。
分解禁止	●**改造や工具を必要とする分解はしない** 火災・感電・けがの原因。 分解・修理は修理技術者のいる販売店または当社のお客さまご相談窓口にご相談ください。
ぬれ手禁止	●**濡れた手で電源プラグを抜き差ししない** 感電・けがの原因。
指示に従う	●**交流 100 V を使用する** 火災・感電の原因。
	●**異常・故障時には、直ちに使用を中止する** 発煙・発火・感電・けがの原因。 〈異常・故障例〉 本説明書末尾の「愛情点検」をご参照ください。
	●**電源プラグの刃および刃の取付面にほこりが付着している場合はよく拭く** 発煙・発火の原因。 ●**がたつきがないよう刃の根元まで確実に差し込む** 感電・けがの原因。
プラグを抜く	●**お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜くか分電盤のブレーカーを切る** 感電・けがの原因。

⚠注意　誤った取扱いをしたときに、軽傷または家屋・家財などの損害に結びつくもの

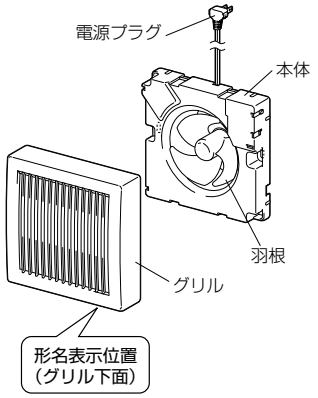
禁止	●**本体に異常な振動が発生した場合は使用しない** 本体・部品の落下によるけがの原因。
	●**高温（40℃以上）になる場所や直接炎があたったり、油煙の多い場所や有機溶剤のかかる場所では使用しない** 火災の原因。
接触禁止	●**運転中は羽根の中に指や物を入れない** けがの原因。
指示に従う	●**電気工事は必ず電気工事店に依頼する** 感電の原因。
	●**お手入れの際は手袋を着用する** 着用しないとけがの原因。
	●**お手入れの後の部品の据付けは確実に行う** 落下によるけがの原因。
	●**電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜く** 感電・ショートの原因。
プラグを抜く	●**長期間ご使用にならないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜くか分電盤のブレーカーを切る** 絶縁劣化による感電・漏電火災の原因。

2. ご使用にあたってのお願い

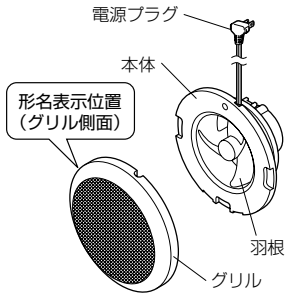
- **換気扇設置場所で中性以外の洗剤や消毒剤などを頻繁に使用すると寿命が短くなる場合があります。**
- **お手入れに下記の溶剤・洗剤を使用しないでください（中性洗剤をご使用ください）。**
  シンナー、アルコール、ベンジン、ガソリン、灯油、スプレー、酸性洗剤、アルカリ性洗剤、化学ぞうきんの薬剤、クレンザーなどの研磨材入りの洗剤、殺菌剤、消毒剤など
  （異常音の発生、変質、変色や故障の原因）

3. 各部のなまえ

〈V-08P7-BL，V-08PP7-BL〉



〈V-08PM7-BL〉



4. 使用方法

運転開始と停止は壁のコントロールスイッチで行います。

5. お手入れ

グリル、羽根にほこりなどが付着しますと風量低下や異常音発生の原因になります。
約 4 か月に 1 度を目安に清掃してください。

- 長い間ご使用の換気扇は、使用上支障がなくても安全のための点検（本説明書末尾の「愛情点検」をご参照ください）をお願いします。

⚠警告
お手入れの際は必ず分電盤のブレーカーを切る
感電・けがの原因。

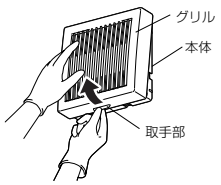
⚠注意
お手入れの際は手袋を着用する
着用しないとけがの原因。

お願い
- **洗剤などをご使用の場合は中性洗剤をご使用ください。**
- **お手入れの際、羽根に衝撃を与えたり、モーターの軸に無理な力をかけないでください。**
  （異常音発生の原因）

1．清掃部品のはずしかた

グリルの取手部を手前に引きながら斜めに持ち上げてはずす。

- 本体からグリルをはずす際、グリル正面を支えながらはずしてください。
  （落下によるけがの原因）



2．清掃のしかた

1．**グリルは中性洗剤を溶かしたぬるま湯（40℃以下）に浸して汚れを落としてからきれいな水で洗い、よく乾かす。**

2．**羽根、本体は中性洗剤を溶かしたぬるま湯（40℃以下）に浸した布で汚れをふき取った後、洗剤が残らないように乾いた布でよくふく。**

3．お手入れ後の清掃部品の据付け

1．**据付けは取りはずしと逆の順序で行う。**

2．**据付け後、次の確認をする。**
（1）グリルが確実に据付けられていますか。
（2）異常な音が出ていませんか。
（必ず運転をして確認してください）

6. 修理を依頼される前に

●次のような症状があれば点検してください。点検・処置をしても直らない場合、または下記以外の現象が生じた場合は、事故防止のため分電盤のブレーカーを切り、お買上げの販売店または、工事店にお申しつけください。

こんなとき	原　因	点検・処置
スイッチを入れても羽根が回転しない	電源プラグがコンセントに差し込まれていますか	差し込みます
	分電盤のブレーカーが切れていませんか	「入」にします
運転中に異常音や振動がする	本体・グリルが確実に据付けられていますか	据付け直します
	羽根・グリルにほこり・異物が付着していませんか	清掃します
羽根が逆回転する、回転が遅い、または不規則	外風の影響にて発生する可能性があります	無風状態で確認します
こげ臭いにおいがする	故障です 運転停止してください	販売店または工事店へ連絡します

●モーターの軸受は時間が経つにつれ、回転がなじんで音が変化する事がありますが異常ではありません。

7. アフターサービス

MITSUBISHI　三菱電機 ご相談窓口・修理窓口のご案内（住宅用換気送風機）

取扱い・修理のご相談は、まず
お買上げの販売店へ

●お買上げの販売店にご依頼できない場合（転居や贈答品など）は、各窓口へお問い合わせください。

■お問合せ窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

三菱電機株式会社は、お客様からご提供いただきました個人情報は、下記のとおり、お取り扱いします。

1. お問合わせ（ご依頼）いただいた修理・保守・工事および製品のお取り扱いに関連してお客様よりご提供いただいた個人情報は、本目的ならびに製品品質・サービス品質の改善、製品情報のお知らせに利用します。
2. 上記利用目的のために、お問合わせ（ご依頼）内容の記録を残すことがあります。
3. あらかじめお客様からご了解をいただいている場合および下記の場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を提供・開示することはありません。
   ①上記利用目的のために、弊社グループ会社・協力会社などに業務委託する場合。
   ②法令等の定める規定に基づく場合。
4. 個人情報に関するご相談は、お問合せをいただきました窓口にご連絡ください。

ご相談窓口　住宅用換気送風機の購入相談・取扱い方法　受付時間365日24時間

●三菱電機換気送風機技術相談センター
フリーダイヤル **0120-726-471**（無料）
携帯電話・PHS・IP電話対応
三菱電機株式会社 中津川製作所
〒508-8666　岐阜県中津川市駒場町1番3号　FAX (0573) 66-5659（有料）

■ご相談対応　平日 9：00～12：00　13：00～19：00（土・日・祝及び弊社休日以外）
■上記時間帯以外のご相談（受付のみ）
●三菱電機お客さま相談センター
フリーコール **0120-139-365**（無料）
（ICカスタマー　365日）

携帯電話・PHS・IP電話の場合	
三菱電機お客さま相談センター	TEL (03)3414-9655（有料）

修理窓口　住宅用換気送風機の修理の問合せ・修理の依頼　受付時間365日24時間

●三菱電機修理受付センター
フリーダイヤル **0120-56-8634**（無料）
インターネット **www.melsc.co.jp**
携帯電話サイト
空メールの送り先：**fc8634@melsc.jp**
またはバーコードからアクセス。
URLをメール返信します。

携帯電話・PHS・IP電話の場合		
北海道・東北 関東甲信越	東日本 修理受付センター FAX (03) 3424-1115（有料）	(03) 3424-1111（有料）
東海・北陸・関西 中国・四国・九州	西日本 修理受付センター FAX (06) 6454-3900（有料）	(06) 6454-3901（有料）

※所在地、電話番号などについては変更になることがありますので、あらかじめご了承願います。
●電話番号をお確かめのうえ、お間違えのないようにおかけください。

S11A

■補修用性能部品の保有期間

当社は、このパイプ用ファンの補修用性能部品を製造打切り後６年保有しています。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
ただし、その後４年間は補修用同種部品または交換可能な同種部品などを供給します。

■優良住宅部品（BL部品）について

この換気扇は一般財団法人ベターリビングにより優良住宅部品の認定を受けたもので、BLマーク証紙を貼り付けてあります。
優良住宅部品が住宅に据え付けられ引き渡されたのち２年以内にメーカー責任不良が発生した場合は、優良住宅部品の保証制度により無償で修理を保証いたします。
また、下記特定部分については優良住宅部品が住宅に据え付けられたのち、３年以内にメーカー責任不良が発生した場合は、優良住宅部品の保証制度により無償で修理を保証いたします。

特定部分	羽根、本体、グリル （ただし、モーター等電動機構部品、スイッチを除く）

ただし、下記の事項に係わる修理は無償修理保証の対象から除きます。
1. 住宅用途以外で使用した場合の不具合
2. ユーザーが適切な使用、維持管理を行わなかったことに起因する不具合
3. メーカーが定める据付説明書などに基づかない据付け、専門業者以外による移動・分解などに起因する不具合
4. 建築躯体の変形など住宅部品本体以外の不具合に起因する当該住宅部品の不具合、塗装の色あせなどの経年変化または使用に伴う摩擦などにより生じる外観上の不具合
5. 海岸付近、温泉地などの地域における腐食性の空気環境に起因する不具合
6. ねずみ、昆虫などの動物の行為に起因する不具合
7. 火災・爆発等事故、落雷・地震・噴火・洪水・津波など天変地異または戦争・暴動等破壊行為による不具合
8. 消耗品の消耗に起因する不具合
9. 指定規格以外の電気を使用したことに起因する不具合

8. 仕　様

（電圧 100V）

形　名	消費電力（W）		風　量（m³/h）		騒　音（dB）		質量（kg）
	50Hz	60Hz	50Hz	60Hz	50Hz	60Hz	
V-08P7-BL	3.9	4.7	100	120	28.5	33.5	0.51
V-08PM7-BL	4.3	5	95	110	28	31.5	0.47
V-08PP7-BL	4.3	5	75	90	30	35.5	0.53

※特性はJIS C 9603に基づく開放時の値です。

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

〔本体への表示内容〕
※経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために電気用品安全法で義務付けられた右の内容を本体に表示しています。

【製造年】本体に西暦4ケタで表示してあります
【設計上の標準使用期間】15年
設計上の標準使用期間を超えて使用されますと、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

〔設計上の標準使用期間とは〕
※運転時間や温湿度など、標準的な使用条件（右表による）に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。
※本製品の設計上の標準使用期間は、製造年を始期とし、JIS C 9921-2に基づいて算出したもので、無償保証期間とは異なります。また、偶発的な故障を保証するものでもありません。
●本製品は取扱説明書記載の設置場所の想定時間を用いて設計上の標準使用期間を算出しています。
●「経年劣化」とは長期間にわたる使用や放置に伴い生ずる劣化をいいます。

■標準使用条件　JIS C 9921-2

環境条件	電　圧	単相 100V	定格電圧による
	周 波 数	50Hz および 60Hz	定格周波数による
	温　度	20℃	JIS C 9603から引用
	湿　度	65%	
	設置条件	標準設置	据付説明書による
負荷条件		定格負荷	「8. 仕様」による
想定時間	1年間の使用時間	換気時間[a)] 台所　2410時間/年 居室　2193時間/年 トイレ　2614時間/年 浴室　1671時間/年	

注[a)] 24時間換気のものは、8760時間/年とする。

愛情点検　☆長年ご使用の換気扇の点検を ！

ご使用の際このようなことはありませんか。
- スイッチを入れても羽根が回転しない。
- 運転中に異常音や振動がする。
- 回転が遅いまたは不規則。（モーターはメンテナンスが必要な部品です）
- こげ臭いにおいがする。
- 本体据付部に腐食、破損などがある。

▶ **使用中止**　故障や事故防止のため、電源を切って必ず販売店にご連絡ください。点検、修理に要する費用は販売店にご相談ください。

お客様メモ
サービスを依頼されるとき便利です。

形　名		お買上げ年月日	年　月　日
お買上げ店名 （住　所） （電話番号）			

この製品には地球環境保護の一環として再資源化ができるように主なプラスチック部品に材質名を表示しています。
（材質名は主材料に ISO 規定の略号を使用。）

三菱電機株式会社
中津川製作所 〒508−8666 岐阜県中津川市駒場町１番３号

この説明書は、再生紙を使用しています。

MITSUBISHI

三菱パイプ用ファン

〔トイレ用〕

形　名	グリル形状	グリル色調	BL 規格	電源仕様
V-08P7-BL	角形格子グリル	ホワイト	便所用Ⅰ型	電源プラグ
V-08PM7-BL	丸形パンチンググリル	ホワイト		電源プラグ
V-08PP7-BL	角形格子グリル	ホワイト	便所用Ⅱ型	電源プラグ

形名によって取扱いが異なりますので、予めご使用の形名をご確認ください。
形名表示位置は**「3. 各部のなまえ」**を参照ください。

据付説明書　　販売店・工事店様用

据付けを始める前に、誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を梱包外側の「警告」「注意」で説明しておりますので、この説明書とともによくお読みになり、正しく安全に据付けてください。

据付終了後は、必ずこの説明書をお客様にお渡しください。

■据付け、壁穴工事はお買上げの販売店・工事店様が実施してください。
（間違った据付け、工事は、故障や事故の原因になります）

■電気工事は電気工事士の方が実施してください。

■この製品はトイレに据付けてください。
それ以外の用途には使用しないでください。（故障の原因になります）

■直接屋外に排気する場合は、雨水浸入防止のためシステム部材（屋外フードなど）を据付けてください。

■雨水浸入防止のため外風の吹き付けの強い場所では風圧シャッター付深形フードを据付けることをおすすめします。

■この製品の運転・停止にはシステム部材または市販のコントロールスイッチが必要です。

■接続パイプは市販品の塩化ビニル管（VU、VP（呼び径 100 ㎜））または鋼板管（内径 100 ㎜）のいずれかをご用意ください。

優良住宅部品（BL 部品）について

- 当社の定める部品要領を逸脱しない据付けに不具合（瑕疵）が生じ、据付作業者が無償修理や損害賠償を行った場合、BL マークの証紙の貼付（又は刻印など）がされている住宅部品については、一般財団法人ベターリビングの BL 保険制度により、保険金が支給されます。
- BL 保険制度については、一般財団法人ベターリビングのホームページ（http://www.cbl.or.jp/）をご覧ください。

1. 安全のために必ず守ること
⇒梱包箱をご確認ください

2. 据付前のお願い

- 高温（40℃以上）になるところに据付けないでください。（故障の原因になります）
- 塩害、温泉害の発生している場所には据付けないでください。（故障の原因になります）
- 燃焼機器の排気口の近くには据付けないでください。（燃焼機器から排出された排気ガスが含まれた外気が、強風のときなどに室内に侵入すると、異臭などの原因になります）
- システム部材（屋外フードなど）は壁厚にあったものを選んでください。（壁厚により据付けられないものがあります）
- 天井・壁板は、振動・共鳴音防止のため強度のあるものを据付けてください。
- アルミフレキシブルダクトへの据付はしないでください。（振動の原因になります）
- 効果的な換気を行うために給気口を設けてください。

3. 各部のなまえと外形寸法図

- **各部のなまえ　⇒裏面の取扱説明書の「3. 各部のなまえ」をご確認ください**
- **外形寸法図　⇒梱包箱をご確認ください**

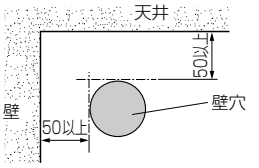
【付属部品】 木ネジ……2 本

4. 据付方法

1 据付前の準備

壁据付けの場合（壁穴への接続パイプの固定）

1. 据付場所を決めて穴をあける。
   - 右図の壁穴位置をご確認ください。
   - 接続パイプには塩化ビニル管の薄肉（VU）と厚肉（VP）管および鋼板管があります。壁厚に応じて長さを決めてください。
   - 必ず床面より 1800 ㎜以上のメンテナンス可能な位置に据付けてください。

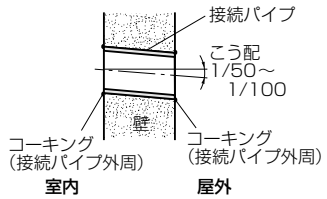


単位（㎜）

お願い
- 据付位置は右図の位置になるようにしてください。右図の寸法より小さくなりますと製品が据付けられない場合があります。

2. 壁穴に接続パイプを確実に固定する。
   接続パイプと壁のすき間はコーキング処理を施します。
   - 固定が不十分ですと振動したり異常音が発生する原因になります。
   - 室内への水浸入を防ぐため、接続パイプは室内壁面まで差し込みます。

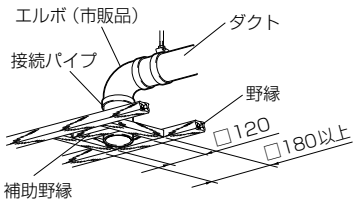
お願い
- 接続パイプは雨水の浸入を防ぐため屋外側に下りこう配をつけ、固定してください。



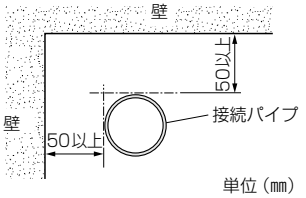
※接続パイプは壁面より室内側に出ないようにしてください。

天井据付けの場合（野縁工事とダクト工事）

1. 下図のように野縁工事をし、ダクト工事をする。



単位（㎜）

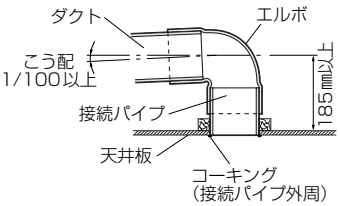


単位（㎜）

お願い
- 接続パイプが壁から右図の位置になるようダクト工事を行ってください。
  右図の寸法より小さくなりますと製品が据付けられない場合があります。

2. ダクトの中心から天井板まで 185 ㎜以上離して天井板を張る。
3. エルボと天井板の間は接続パイプを接続する。
4. 接続パイプと天井のすき間はコーキング処理を施す。

お願い
- ダクトは雨水の浸入を防ぐため屋外側に 1/100 以上の下りこう配をつけてください。
- 天井板に強度がないときは補強材を入れてください。



※接続パイプは天井面より室内側に出ないようにしてください。

2 電気工事

■市販のコントロールスイッチを使用される場合は適切なコントロールスイッチを選定して結線してください。

■内線規程に基づくコンセントを屋内の換気扇の近くに設ける。

⚠警告
- **交流 100V を使用する**
  直流や交流 100V 以外を使用すると感電の原因。

⚠注意
- **電気工事は電気工事士の方が「電気設備に関する技術基準を定める省令（及び同解説）及び「内線規程」に従って安全・確実に行う**
  接続不良や誤った電気工事は、火災・感電の原因。
- **電気工事は電気工事店に依頼する**
  感電の原因。

3 本体の据付け（壁据付け・天井据付けともに同様の据付けかたです）

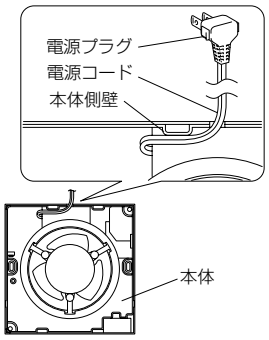
1．本体からグリルをはずす。

2．電源コードを配線する。

〈V-08P7-BL、V-08PP7-BL の場合〉

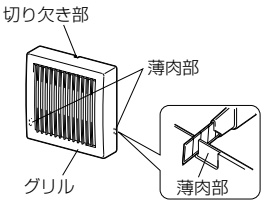
■電源プラグを上から出す場合

右図のように電源コードをかみ込まないように本体側壁に沿わせて配線してください。



■電源プラグを左右から出す場合

グリルの薄肉部を切り欠いてください。本体上部の切り欠き部は市販のテープなどでふさいでください。



お願い

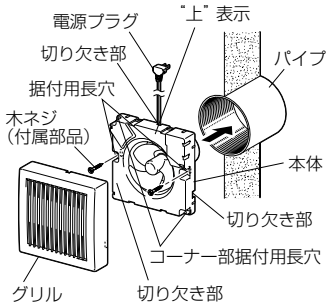
- 電源コードをかみ込まないように本体、グリルの切り欠き部から引き出してください。

3．本体の上下を確認して接続パイプに差し込み、付属の木ネジ２本で本体を固定する。

- 本体の刻印「上」を上側にして据付けてください。
- 左右の据付用長穴をご使用ください。必要に応じてコーナー部据付用長穴をご使用ください。
- 石膏ボードに据付ける場合は、市販の石膏ボード用アンカーを必ず使用してください。

お願い

- インパクトドライバーは使用しないでください。
  本体の固定部分が破損するおそれがあります。



〈図は角形格子グリルタイプ〉

4．グリルを本体に据付ける。

- グリルの方向を確認して、本体に据付けます。

5．以上の据付けが終了した後、本体とグリルが確実に据付けられているか確認する。

6．試運転を行う。

- 製品が運転・停止するかを確認してください。
- 異常な音・振動などがないかを確認してください。